

JISA ビジネス委員会企画

第 1 回経営力醸成プログラム（宮城）開催

令和 6 年 7 月 11 日から 12 日にかけて、秋保温泉 篝火の湯 緑水亭（宮城県仙台市）において第 1 回経営力醸成プログラムが開催された。本プログラムは業界の未来の担い手として、人間関係のネットワークをつくるとともに、「講演」「ディスカッション」「ワークショップ」「視察」を通じて、見識を深めることを目的に JISA ビジネス委員会が企画したものである。参加者は 23 名であった。



JISA 副会長 兼
ビジネス委員会
委員長 長坂正彦

冒頭、JISA 副会長兼ビジネス委員会委員長（株）ワイ・シー・シー 代表取締役）長坂正彦氏が開会にあたり「自らを鍛え社会の先導役となるには『両利きの経営』が必要。緑豊かな環境で学び、ぜひ人的ネットワークを築いていただきたい」と挨拶した。



早稲田大学
名誉教授
根来龍之氏

続いて、参加者の自己紹介が行われた後、早稲田大学名誉教授 根来龍之氏が「顧客産業のビジネスモデル変化と IT 産業の変化～両利きの経営とデジタル化の二周目問題～」をテーマに講演を行った。講演では、ビジネスモデルのデジタル化は二回目以降の変化の段階に入っているが、そのあり様は業種により多様であり、変化のスピードや「再デジタル化／汎用品化」の状況により対応戦略も異なることを様々な事例により示した。また、両利きの経営については、既存事業と新事業の両立の難易度はどのような条件で変化するのか考察を述べた。講演後は質疑応答が行われた。

次に、（一社）宮城県情報サービス産業協会（MISA）の九萬原専務理事、伊藤政策提言委員会委員長が講演を行った。九萬原氏は、地域情報サービス産業の動向として、MISA の概要、宮城県の IT 業界の現況、地域 IT ベンダーの課題、宮城県の優位性について説明した。伊藤氏は、MISA の第 9 次中期事業計画の現状認識と課題解決に向けた施策、各委員会の活動状況等について、会員企業の経営の実情も踏まえながら講演した。講演後は活発な議論が行われた。



◀（一社）宮城県情報
サービス産業協会
九萬原専務理事（左）
伊藤政策提言委員会
委員長（右）

講演風景▶



翌日、1 メートルの 10 億分の 1 というナノの世界を観察することができる世界最高水準の 3GeV 高輝度放射光施設「ナノテラス」を見学した。

（JISA 事務局）



▲ナノテラス前